

NDP- phase 3

1. 医療安全対策のモデル開発(ベストプラクティス)

危険薬の誤投与の防止 / 注射薬指示の標準化 / 輸液ポンプの安全な使用 / 臨床研修の安全管理 / 転倒転落の防止

* 患者経験調査の改善 / 映像記録の活用 by NDPタスクチーム

2. モデル展開型改善プロジェクトの実施

【医療の質安全向上をめざす病院合同改善プロジェクト】 (第三次)

危険薬の誤投与の防止 / 患者調査から改善へ / 5S活動

by 院内改善Pチーム

3. 質安全向上のための教育モジュールと活用方法の開発

4. 医療TQMのモデル開発

方針管理と日常管理 / 質マネジメントシステムの構築

5. 「患者による医療評価(患者経験調査)」の事業化支援

■ 第2回KYTコンテスト

(案) 6月募集→10月締切→11月発表

■ 改善プロジェクト 第1回会合

(予定) 6月11日、12日

■ Qエキスパートセミナー

(案) 4月29日(金)－5月1日

または 5月6日(金)－8日

* タスクチーム会議 (未定) 5月14日、15日、または27日、28日

NDPホームページ

<http://www.ndpjapan.org/>

- 日本版患者経験調査のベータ・テスト 参加募集中
- NDP公開セミナー 随時HPにて案内

医療のTQM推進協議会ホームページ

<http://www.tqm-health.gr.jp/>

- フォーラム医療の改善活動全国大会
10月28日 札幌

QEエキスパート

< 前提条件 >

- トップのコミットメントとリーダーシップ
- 質・安全管理の専任者
- 質・安全に関する活動を支援する事務局体制があること

< QEエキスパート(改善アドバイザー) >

- 異なる専門職種・部門の人々が、質・安全の考え方と知識・技法を共有する
 - ーシステム・アプローチを可能にする
- ファシリテーター
 - ー考え方、知識、技法を組織の中に広め「安全」と「改善」を組織の文化として定着させる
 - ー質・安全の取り組みを推進、促進する役割

質安全(Q)エキスパート養成研修

総合的質管理の意義について

TQMによる経営管理の質的向上 / 組織改善におけるトップリーダーシップ

安全管理について

ヒューマンファクター工学と安全管理の考え方 / 企業における安全対策の取り組みの実際 / 危険予知トレーニング / エラープルーフの工夫例

標準化について

標準化の意義 / 「標準」の種類と実例 および標準化の進め方
作業管理標準としてのQC工程表について

インシデント事例の分析手法について

分析から改善へ: 事例分析の目的と手順 / 事象関連図の意義と活用方法
層別の意義と多変量相関図の活用方法

改善の技法

問題解決の基本的な考え方 / 問題解決の手順(QIステップ) / 七つ道具と新七つ道具

医療安全5つの技法

- 要因解析の技法
- 危険予知の技法
- エラー防止の技法
- 根拠に基づく改善の技法
- 標準化の技法

5 S

教材作成 / 改善モデル開発

< 医療TQMのモデル開発 >

医療版TQM教材の開発

< 臨床研修の安全管理 >

臨床研修体制・指導指針 / 教材作成

< 安全な医療機器操作 >

教材作成 / 改善モデル開発

< 投薬事故防止：投薬指示 >

教材作成 / IT関連問題の現状把握

< 投薬事故防止：インスリン >

教材作成 / SS以外の安全管理

< 転倒転落の防止 >

教材作成 / 包括的対策案

< 映像記録の活用 >

手術ビデオ記録の活用方法

< 情報支援 >

有用情報 / 教訓事例情報の共有

< 研修・成果普及推進 >

公開セミナー、教材開発支援、

コア病院

医療の質安全向上
をめざす
改善プロジェクト
(病院合同改善プロジェクト)

Qエキスパート
養成研修

レスポンス

患者経
験調査
事業化
の支援

NDP公開セミナー

教材開発普及支援

HP・メルマガ・アピール

病院合同改善プロジェクト参加病院

1. 病院トップに、組織的に取り組む決意がある

- * 会合参加旅費や院内活動の費用を予算化できる。
オーナーシップがある。質・安全に人・時間を充てる。

2. 質安全の改善を担当する委員会及び質安全管理専門者を配置し事務局など事務的支援体制ができる

- * リスクマネジメントやその他の質安全関連業務との併任でよい

3. 主要部門・職種でQEエキスパート(改善アドバイザー)を選任・育成する

- * 質安全の考え方と技法について院内研修の講師を務め、改善プロジェクトの実施にあたって助言指導を行う

4. QCサークル等の改善活動を行っている病院か、この機会に始める病院が望ましい。

問題解決のレベル

個人で改善すること

質の文化
知識技術の向上

職場レベル(のシステム)で改善すること

改善サークル活動
システム思考

組織レベル(のシステム)で改善すること

質経営の理念と方針
質保証プログラム
課題別改善チームプロジェクト
戦略的機構改革

社会の取組みによって改善すること

学会による質保証の取組み
関連業界の取組み
政策的措置
賢明な医療消費者への支援

提言を行う

社会からの質の要求